



北鎌倉 葉祥明美術館

絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。
あなたはどんな空間を感じますか……

●絵本『風とひょう』のワンシーンです。



・絵本『風とひょう』は1990年にある賞を受賞しました。なんという賞でしょうか。

・絵本『風とひょう』は憧れや不安を詩的に描いた作品です。少年を見つめる“ひょう”は一般的に捕食者と思いますが、本作では異なります。“ひょう”はどのような存在として描かれているでしょうか。

●この作品は絵本の一場面です。

・なんという絵本でしょうか。

・絵本のお話を書いたのは安房直子さんです。
葉祥明さんと安房直子さんが一緒につくったほかの絵本のタイトルはなんでしょうか。



・寒がりのうさぎさんが太鼓をたたくと、一面春の野原になるお話です。あなたが太鼓をたたくとどんな景色が広がると嬉しいですか？(*他の人の考えも聞いてみましょう。新しい発見があるかも)

●2012年「いちご新聞」(サンリオ刊)6月号で紹介された作品です。



- ・「いちご新聞」では絵と一緒に“詩”が紹介されます。この絵に添えられた詩からこの絵の題名を考えて下さい。

おしゃべりしましょう
誰とでも
大好きな人
苦手な人
草花に動物たち
そして
自分の心と身体とも

絵の題名

「 — — — — — 」
| |
「 — — — — — 」

- ・この作品の中に“青い鳥”が描かれています。葉祥明さんの作品には度々“青い鳥”が描かれますが、春の展示の他の作品にも描かれています。なんという作品に登場するでしょう。

※ 近くに飾ってある「新緑の香り」という作品も2004年5月号の「いちご新聞」掲載作品です。この2つの作品は色やモチーフは違うけれど、どちらも優しい印象を受けます。それは葉祥明さんの「自分と自分の生活、そして身近な人たちを、温かく優しい愛をもって見守り、自分の人生を大切に生きて欲しいです。」という想いが込められているから…かもしれません。